



九州大学

九州大学広報室

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1

TEL:092-642-2106 FAX:092-642-2113

MAIL:koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

URL:<http://www.kyushu-u.ac.jp/>

PRESS RELEASE (2010/1/19)

第5回『北大・九大 合同フロンティア・セミナー』の開催について

概要

平成22年2月24日(水) 18時30分から第5回『北大・九大 合同フロンティア・セミナー』を開催いたします。

本セミナーは、現在、本学及び北海道大学がどのような研究をすすめているのか等について広く産業界、社会人、両大学の同窓生の皆様に知っていただき、各分野の方々との連携・交流を一層深めることを目的としているものです。開催日時、場所等は以下のとおりです。

日時：2月24日(水) 18:30～

場所：東京ステーションコンファレンス (JR東京駅, 東京メトロ東西線大手町駅)
東京都千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー5階

テーマ：縄文と弥生

背景

九州大学は、その活動状況を社会へ発信する手段として、北海道大学との合同による活動報告会とフロンティア・セミナーを東京で開催しております。

今回、第5回『北大・九大 合同フロンティア・セミナー』を「**縄文と弥生**」をテーマに次の内容で開催いたします。

内容

【講演】

石森 秀三 (北海道大学 観光学高等研究センター長 特任教授)

【演題：縄文文化と弥生文化、そして現代日本】

日本文明はいま大きな曲がり角を迎えています。世界的に政治・経済・文化の力学に大きな変動が生じており、日本では今後さまざまな分野での改革が不可欠になります。とくに低炭素革命に対応して、日本人のライフスタイルの革新が必要になります。日本文明の基底をなす縄文文化と弥生文化の比較をとおして、現代日本におけるライフスタイル・イノベーションのあり方を考えます。

宮本 一夫 (九州大学 大学院人文科学研究院 教授)

【演題：縄文文化 VS 弥生文化－農耕社会の成立という観点から－】

近年、狩猟採集社会として考えられていた縄文社会に、クリ栽培やイネ・アワ栽培などの栽培化の事実が判明しつつあり、縄文社会の見直しが進みつつあります。しかし、その栽培化は人間と食用植物との関わりに於いて環境に適応した形で生まれたものであり、集団労働という面では組織的なものではなく、かつ社会的に分節する方向に発展しませんでした。弥生社会の灌漑農耕こそが、労働における社会的な分節から社会的な階層や社会の複雑化を生むものであって、必然的に古代国家への胎動を促すものでありました。そこに両文化の大きな違いを見いだすことができます。

【パネルディスカッション】

テーマ：「縄文と弥生，そして現代日本」

- ・コーディネーター：佐藤 誠（北海道大学 観光学高等研究センター 特任教授）
- ・パネリスト：石森 秀三（北海道大学 観光学高等研究センター長 特任教授）
宮本 一夫（九州大学 大学院人文科学研究院 教授）

〈参加費用〉

1,000円：ドリンク（ビール等）及び軽食付き

■効果

合同フロンティア・セミナーにおいて、南北の知の拠点である九州大学と北海道大学における先駆的な取り組みと活動状況を広く社会に向けて積極的かつ継続的に発信します。このことにより、産業界、社会人、両大学の同窓生の皆様方との連携・交流が一層深まることが期待されます。

また、両大学が交流を深め、互いに切磋琢磨しながら連携協力を行うことにより、今後の両大学の更なる発展・飛躍につながっていくことが期待されます。

■今後の展開

本セミナー開催後も、九州大学と北海道大学の合同により以下のイベントを企画しており、両大学からの継続的な情報発信の機会を設けております。

第6回『九大・北大 合同フロンティア・セミナー』

日時：平成22年6月10日（木） 18：30～

場所：東京ステーションコンファレンス

東京都千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー6階

テーマ：最先端研究開発支援プログラムの推進（仮題）

【お問い合わせ】

九州大学 学術研究推進部 学術研究推進課 住田 憲紀

電話：092-642-7265

FAX：092-642-7090

Mail：kisgodo@jimu.kyushu-u.ac.jp

北海道大学 学術国際部 研究協力課 斎藤 之史

電話：011-706-2058

FAX：011-706-4873

Mail：suishin@general.hokudai.ac.jp